

孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム 第2回シンポジウム

分科会1 声を上げやすい・声をかけやすい社会に向けた取り組みのあり方

宮本みち子(放送大学/千葉大学名誉教授)

簡単な自己紹介

ポスト工業化をはじめとする社会経済構造が大人になる意味と過程にどのような影響を及ぼしているかに関する研究(若者研究)や、生活困窮者の生活実態と社会政策に関する研究(貧困・生活困窮者研究)を主に手がけてきた社会学者です。

【主な社会活動】

内閣府子どもの貧困に関する有識者会議座長
こども政策の推進に係る有識者会議構成員
公益財団法人あすのば理事
首都圏若者サポートネットワーク運営委員長
ちば こども・若者未来基金委員長

【主な著書】

『アンダークラス化する若者たち』(共著 明石書店)
『下層化する女性たち』(共著 勁草書房)
『若者が無縁化する』(筑摩書房)

孤独・孤立は、あらゆる困難事象に共通する現象

■自殺、貧困、虐待、犯罪、失業、ひきこもり・・・どこから入っても孤独・孤立を感じている人が8割近いという調査結果



孤立・孤独だけを取り上げて対策を講じることが有効なのか
テーマの分断と分散化に陥らないように注意する必要がある
それぞれのテーマに対する取組の強化こそ必要ではないか

■対策を講じる必要性が認められ、取り組まれてきた活動に、あらためて「孤独・孤立」という視点をみんなが共通認識としてもつことが大事ではないか

加えて、自殺、貧困、虐待・・・という個別テーマをつなげて俯瞰的に見る観点と
取り組みこそ必要ではないか

■分科会1「声をあがやすい・声をかけやすい社会」は、すべてのテーマに共通する
課題

「家族」と「友人・知人」が主な相談者という問題

- 多くの調査結果によれば、困った時は家族を頼りにしている

家族の特徴 お金に困った時、病気になった時は家族に頼る

友人・知人 話し相手、しかし深刻な話はしない(とくに若い年齢層の特徴)

- 日本の特徴

「家族以外の人と交流のない人」が、OECD加盟国で断突1位 15.3%

出所: OECD Society at a Glance 2005

「困っている見知らぬ人の手助けをあなたは先月しましたか」 最下位

出所: OECD Society at a Glance 2014

- 孤独・孤立を感じている人は、 家族に頼れない+友人がいない

困難を抱えている人に共通する現象

家族などの親密圏が弱体化しているにもかかわらず、社会制度も社会慣習も
家族(+会社)でものごとは解決していると見做し、社会変革が変化に追いつかない

助け手がどこにいるのかを、あらゆるところで知らせる

- 広く、不特定多数の人々に、支援サービスの存在を広報する
 - ・転入・転出時、母子手帳交付、定期健診、入学時、卒業時、中退時、保健室、塾、ならいごとなど・・・配布、気になる子には直接声をかける
 - ・コンビニ、図書館、学童クラブ
- それにもかかわらず、本当に困っている人は助けてといえない
 - ➡ こちらから声をかけることが必要
 - ➡ 信頼関係を築かなければ、助けてとはいわない
 - ➡ 信頼関係を築くために何かをしなければならない

足立区孤立ゼロプロジェクト・絆のあんしんネットワーク

■ 高齢者の孤立状況を打開するために、①気づく ②つなげる ③寄り添う
の3つの柱の「絆あんしんネットワーク」を築き、居場所づくりや社会参加につなげている

①気づく……孤立ゼロプロジェクト実態調査による“気づき”

町会・自治会活動による“気づき”

絆のあんしん協力機関の事業活動時の“気づき”

絆のあんしん協力員の見守り、声掛け活動による“気づき”

ご近所づきあいによる“気づき”

②つなげる……連絡を受けた地域包括支援センターは専門機関などの必要なサービスにつなげる。「話し相手がほしい」「ちょっとした相談相手がほしい」方には、地域包括支援センターが絆のあんしん協力員を紹介

NPO法人パノラマの課題集中校の校内居場所カフェ

- 校内居場所カフェは、支援対象者にこちらから会いに行くプッシュ型の事業
- 助けてといえる信頼関係の構築
＋助けをもとめていることを敏感にキャッチできる支援者
- 全ての子ども・若者が、家庭や学校とは異なる対人関係のなかで社会性や豊かな人間関係を育んだり、困難に直面したときには支援を求めたりすることができるような居場所(サードプレイス)を増やしていくこと

よりよいホットラインの相談機能の進化

- 電話相談の域を超えて、必要があればリファーしたり、面談したり、伴走もする
- 新たなニーズに対応して、相談サービスを進化させている
 - ・若年層のために、電話相談からSNS相談への切り替え
 - ・被災地の10代20代の女性のための非公開グループチャット もやもやルーム
同じく、ふつうのtwitter での相談: Moyyater
電話 FAXも可能
 - ・被災地専用 SNSサイト『もやもやルーム』
 - ・LGBTQへの対応
 - ・自殺ライン ・外国語による相談ライン